

平成 31 年 4 月 22 日  
山形地方気象台

## 吾妻山の噴火警戒レベルを 1 へ引下げ

吾妻山では、大穴火口から概ね 1.5 km の範囲に影響を及ぼす噴火の可能性は低くなりました。

吾妻山では、2018 年 5 月頃から認められてきた大穴火口周辺の隆起・膨張を示す地殻変動は、2018 年 12 月上旬ごろから鈍化し、その後、さらに緩やかになり、現在は概ね停滞しています。また、火山性地震は概ねやや多い状態で経過しているものの、2 月以降減少傾向がみられるなど、火山活動が静穏時の状態に戻る傾向がみられていることから、本日（22 日）14 時 00 分に、噴火警戒レベルを 2（火口周辺規制）から 1（活火山であることに留意）に引き下げました。

大穴火口や旧火口周辺では、火山ガスの噴出が認められており熱活動も継続していることから、火山灰や高温の土砂、熱水等が突発的に噴出する可能性があります。また、硫黄平橋周辺でも火山ガスに注意が必要です。地元自治体の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。

なお、火山性地震が多発するなど、火山活動の高まりが認められれば、再び噴火警戒レベルを引き上げます。

問合せ先： 山形地方気象台 担当 火山防災官 尾崎  
電話 023-622-0632 FAX 023-633-0620

火山名 吾妻山 噴火予報：警報解除  
平成31年4月22日14時00分 仙台管区気象台

＊＊（見出し）＊＊

＜吾妻山に噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）：警報解除を発表＞  
大穴火口から概ね1.5kmの範囲に影響を及ぼす噴火の可能性は低くなりました。  
＜噴火警戒レベルを2（火口周辺規制）から1（活火山であることに留意）に引下げ＞

＊＊（本文）＊＊

#### 1. 火山活動の状況及び予報警報事項

2018年5月頃から認められてきた大穴火口周辺の隆起・膨張を示す地殻変動は、2018年12月上旬頃から鈍化し、その後、さらに緩やかになり、現在は概ね停滞しています。

火山性地震は概ねやや多い状態で経過しているものの、2月以降減少傾向がみられます。火山性微動は2018年12月23日を最後に観測されていません。

これらのことから、大穴火口から概ね1.5kmの範囲に影響を及ぼす噴火の可能性は低くなったものと考えられます。

なお、大穴火口及びその周辺では、2018年10月中旬頃から拡大が認められていた地熱域が引き続きみられており、火山ガスの噴出も認められていることから、火山灰等の突発的な噴出に注意する必要があります。

定期的に発表していた火山の状況に関する解説情報は終了します。

#### 2. 対象市町村等

以下の市町村では、入山規制などの特段の警戒が必要なくなりました。

福島県：福島市、猪苗代町

#### 3. 防災上の警戒事項等

大穴火口や旧火口周辺では、火山ガスの噴出が認められており熱活動も継続していることから、火山灰や高温の土砂、熱水等が突発的に噴出する可能性があります。また、硫黄平橋周辺でも火山ガスに注意が必要です。地元自治体の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。

＊＊（参考：噴火警戒レベルの説明）＊＊

【レベル5（避難）】：危険な居住地域からの避難等が必要。

【レベル4（避難準備）】：警戒が必要な居住地域での避難の準備、要配慮者の避難等が必要。

【レベル3（入山規制）】：登山禁止や入山規制等危険な地域への立入規制等。状況に応じて要配慮者の避難準備等。

【レベル2（火口周辺規制）】：火口周辺への立入規制等。

【レベル1（活火山であることに留意）】：状況に応じて火口内への立入規制等。

（注：避難や規制の対象地域は、地域の状況や火山活動状況により異なる）